



# 亀中だより

No.33 令和4年12月2日 文責:岡田



For The Students!

## 「ちょっと待って! その考えはもしかしたら思い込みかも」 ～亀山中学校全校人権フォーラム～

11月30日、亀山中学校人権フォーラムを開催しました。「ちょっと待って! その考えはもしかしたら思い込みかも」は今年の人権フォーラムテーマです。性差の区別なく個性を尊重する「ジェンダーフリー」を重視した取組や活動が行われている中、無意識による思い込みや決めつけによって、相手を傷つけてしまうことが日常にもあるのではないかとヒューマンライツの話し合いから問題提起がありました。このことから今年の人権フォーラムでは、zoomを使って、各クラスをつなぎ、全校で話し合いました。



亀中人権サークル「ヒューマンライツ」のみなさん、これだけのフォーラムを実施するまでには、たくさんの苦労があったことだろうと思います。本当にありがとうございました。ヒューマンライツのみなさんが、人と人とのつながりを大切にする気持ちや本音で語り合うことから、違いを認め合い、誰にとっても過ごしやすい学校、社会を作っていくと活動してくれていることを全校のみんなも感じたと思います。このフォーラムをきっかけとして、ピンクシャツ運動で自ら書いたことのように、自分にできることを実践していきましょう。

## 令和4年度 人権週間

12/4～12/10 人権週間  
12/10 世界人権Day

1948年12月10日、国際連合は「世界人権宣言」を採択し、のちにこの日を「人権デー」と決めました。そして日本では、毎年12月4日～10日を「人権週間」と定め、世界人権宣言の意義を訴えらるとともに人権尊重思想の更なる普及高揚を図る取り組みを行ってきました。学校が例年この時期に人権集会や人権フォーラムに取り組んでいるのもその活動の一つなのです。

法務省は毎年、人権週間に合わせて、ポスターを制作しています。以前は右の「人権まもる君とあゆみちゃん」(漫画家やなせたかしさんのデザインにより誕生しました。2人とも、前髪が「人」の文字、胸に「KEN」のロゴで、「人権」を表しています)が使われていることが多くありました。しかし、近年は次ページのように「『誰か』のことじゃない。」というキャッチコピーとともに、メッセージ性のあるポスターとなっています。



さて、みなさんはこの「草原に立てられた扉を開けて、こちらを見ている少年」からどのようなメッセージを受け取るでしょうか。

第74回

# 人権週間

12月4日～10日 12月10日は人権デーです。



「誰か」のことじゃない。

法務局では、人権侵害による被害を受けた方を救済するための活動を行っています。

みんなの人権110番

ゼロ ゼロ みんなの ひやく とお ばん

0570-003-110

子どもの  
人権110番

0120-007-110

女性の  
人権  
ホットライン

0570-070-810

外国人  
人権  
相談ダイヤル

0570-090-911

インターネット  
人権相談受付窓口

<https://www.jinken.go.jp/>

(パソコン・スマートフォン)  
携帯電話共通



法務省人権擁護局・全国人権擁護委員連合会

## 啓発活動重点目標～人権啓発キャッチコピー～ (法務省 HP より)

様々な人権課題が依然として存在していますが、これらは決して、自分以外の「誰かのこと」、「自分には関係のないこと」ではありません。法務省の人権擁護機関では、本年度も、人権問題を自分や自分の身近な人の問題として捉え、互いに人権を尊重し合うことの大切さを認識し、他人の人権にも配慮した行動をとることができるよう、「『誰か』のこと じゃない。」を啓発活動重点目標に掲げ、受け手を意識した啓発内容の工夫や、ウィズコロナの生活、技術の進歩などの社会情勢を踏まえたICT等のデジタル技術の活用、企業による人権尊重への取組に対する支援など、各種の人権啓発活動を幅広く、効果的に展開します。